



## 二松学舎大学・大学院 卒業式 祝辞

学校法人二松学舎理事長 水戸英則

皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業生のご家族や関係者の皆様にも心からお慶び申し上げます。二松学舎関係者全員が、皆さんの本日のご卒業をお祝いしております。

さて、二松学舎大学では、昨年春の卒業式は新型コロナウイルス感染症の拡大により中止とし、学科単位で先生から卒業証書を手渡しさせていただきました。今年は、通常の卒業式をと望んでおりましたが、新型コロナウイルス蔓延下、本年も紙面により、皆さんの門出をお祝いさせていただくことになり、申し訳ない気持ちで一杯です。

卒業生やご家族の皆様におかれましても極めて残念なことだと思われませんが、諸般の事情をご理解頂ければと思っております。またこのような厳しい制約の中で、オンライン授業を中心に、皆さんが強い意志と忍耐力をもって、学問を継続したことに、改めて深い敬意を示すとともに、今回の経験により、今後遭遇する数々の困難を乗り越えて行く力を身に付けて頂いたと確信しております。どうか厳しい経験を今後の人生に活かしていくよう切望する次第です。

卒業生の皆さんは、これから社会へと旅立ち、自立した自己責任の下での生活が始まります。これからの時代は、AIを中心とした「超スマート社会」 Society 5.0時代に入っていく訳で、デジタル化、カーボンゼロ時代への突入等大きな変革を迎えようとしています。こうした変化の激しい社会の中で身に付けるべき大切なことを、二点申し上げます。

まず一点目は、仕事や研究にあたり、変化を受け入れ、日々新たな気持ちで取り組んでいくということです。毎日同じ繰り返しではなく、昨日より一歩でも進んだ形、「日々は新」という気持ちで、仕事や研究に臨むことが、変革期にある我が国の社会の中での生き方ではないかと思えます。

二点目は、モラル・道徳心を持って、判断し、行動してほしいということです。今回のパンデミックによって浮き彫りになった自由と秩序の問題、カーボンゼロ、デジタル社会への移行等大転換の中にあってもなお人間が本来果たすべき道徳心の大切さ、倫理性を持った人材が必要です。卒業生の皆さんが本学創立以来の建学の精神に基づいた育成する人材像である「創造性と社会的知性、倫理観を持つ人材」として、今後も活躍して欲しいと念願する次第です。

「変化を受け入れ、日々は新たな気持ちで取り組んでいくこと」、「モラル・道徳心を持って、判断し、行動すること」以上二点が、皆さんがこれから社会の中で行動する上で大切な心構えです。これらを念頭に、皆さんが二松学舎大学卒業生として日本や世界でより良い社会を実現する有為な人材として活躍することを念願して贈る言葉とします。皆さん、頑張って実社会へチャレンジしてってください。

最後に二松学舎の門は常に開いており、皆さんをお迎えできます。いつでもお立ち寄りください。お待ちしております。

二〇二一年三月吉日